

科目名		学科/学年	時期	授業形態
一般教養		エステティックマスター学 科/1年	通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	51回	3単位(51時間)	必須	
授業の概要				
日本の伝統文化である華道や茶道について、実習を交えながら学び、日本のおもてなしについて理解を深める。華道では、季節の草花を用いた作品作りと日本の伝統行事について学ぶ。茶道では茶盆点点法を通して、日本人としての美しい所作やマナーについて学ぶ。また、これらを元に最上級生としてどうあるべきかを考えるとともに伝える力を身につける。				
授業終了時の到達目標				
日本の総合芸術を通じて、日本人が大切にしてきた美しい所作や立ち居振る舞い、美しい言葉づかいや感性を磨き、おもてなしの心を養う。そして、これからのグローバル社会の中でも活躍できる、自律した現代女性に相応しい一流の美を身につけることを目指す。				
教員紹介				
【華道】池坊で国際的に活躍している講師が、自身の経験に基づいて授業を行う。 【茶道】遠州流で活躍している講師が、自身の経験に基づいて授業を行う。				
回	テーマ	内容		
1～ 2	華道①	季節感を考える(夏)		
3～ 4	華道②	季節感を考える、七夕(伝統行事)		
5～ 6	華道③	重陽(伝統行事)		
7～ 8	華道④	ミスパリ祭に向けて①		
9～ 10	華道⑤	ミスパリ祭に向けて②		
11～ 12	華道⑥	人日(伝統行事)		
13～ 15	茶道①	袱紗(帛紗)セット説明、畳でお軸拝見、ご挨拶の仕方		
16～ 18	茶道②	茶道の歴史、茶道具の説明、割稽古(コキブクサ、タタミブクサ)、入席の仕方、畳の歩き方		
19～ 21	茶道③	割稽古(コキブクサ、タタミブクサ)、数グループに分けて亭主側、お客さま側でそれぞれお茶を点てる。		
22～ 24	茶道④	茶室について、茶室でのマナー、点前稽古 お菓子について、茶盆点の稽古		
25～ 27	茶道⑤	会席、点心について、数グループに分けて茶盆点の稽古		
28～ 30	茶道⑥	数グループに分けて茶盆点の稽古		
31～ 33	茶道⑦	遠州流宗家によるお茶会に参加		
34	コミュニケーション学①	コミュニケーション①		
35	コミュニケーション学②	コミュニケーション②		

回	テーマ	内 容		
36	コミュニケーション学③	コミュニケーション③		
37	コミュニケーション学④	コミュニケーション④		
38	コミュニケーション学⑤	コミュニケーション⑤		
39	コミュニケーション学⑥	コミュニケーション⑥		
40	コミュニケーション学⑦	コミュニケーション⑦		
41	コミュニケーション学⑧	コミュニケーション⑧		
42	コミュニケーション学⑨	コミュニケーション⑨		
43	コミュニケーション学⑩	コミュニケーション⑩		
44	コミュニケーション学⑪	コミュニケーション⑪		
45	コミュニケーション学⑫	コミュニケーション⑫		
46	コミュニケーション学⑬	コミュニケーション⑬		
47	コミュニケーション学⑭	コミュニケーション⑭		
48	コミュニケーション学⑮	コミュニケーション⑮		
49	コミュニケーション学⑯	コミュニケーション⑯		
50	コミュニケーション学⑰	コミュニケーション⑰		
51	コミュニケーション学⑱	コミュニケーション⑱		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【華道】花鋏、花 【茶道】袱紗、扇子、菓子切り、懐紙、 足袋（白い靴下）、袋 【コミュニケーション】特になし		出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 10.0% 80.0%	